

平成30年度 指定管理者導入施設評価表

施設名称	福島人権ふれあいセンター		所管課(TEL)	人権同和政策課 (026-245-0909)
所在地	須坂市大字福島 134 番地 7		設置年月	昭和 51 年
施設設置目的	交流から人権課題を解決するという目的達成に努め、地域住民と周辺住民の学習に係るサービス事業を実施する			
施設概要・設備	建物の構造	木造平屋建鉄板葺		
	敷地面積	432.47 m ²		
	延床面積	147.65 m ²		
	施設の内容	教室、集会室、便所等		
指定管理者名(選定方式)	部落解放同盟須坂市協議会(公募)			
指定期間	平成28年4月1日から令和2年3月31日			
指定管理者の主な業務	施設の管理及び運営に関すること 施設の利用に関すること 自主事業に関すること			
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対前年比(%)
	利用者数	400	163	56.8
	(特記事項)			
指定管理者の 予算及び決算	項 目	予算額(円)	決算額(円)	
	指定管理料	142,000	142,000	
	利用料収入	0	0	
	支出額合計	142,000	115,511	
	(特記事項)			

2 市（担当課）による評価（評価は非常に良い◎、良い○、やや悪い△、悪い×の4段階です。）

協定書及び指定管理者の事業計画書の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価したものです。評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

項目	指 標	評価	評価に対する説明
管理状況	開館時間、休館日の運用	◎	協定どおり運用されている。
	法令の遵守	◎	関係法令を遵守している。
	適正な人員配置	◎	適切に配置されている。
	職員の労働環境確保	○	ほぼ適切に確保されている。
	職員の研修・教育	○	一層必要に応じた研修をしてほしい。
	文書・帳簿の管理保存	◎	適切におこなわれている。
	報告書等の提出	◎	適切におこなわれている。
	口座管理・経理	○	ほぼ適切に管理している。
	施設の使用許可・条件	◎	適切におこなわれている。
	備品の管理	◎	適切におこなわれている。
	清掃業務	◎	適切におこなわれている。
	環境への配慮	◎	節電など努力されている。
危機管理対策	緊急事態の対応	○	適切におこなわれているが、訓練を行ってほしい。
	安全への配慮	◎	適切におこなわれている。
	個人情報の保護	◎	適切におこなわれている。
	施設設備の保守管理	◎	適切におこなわれている。
	重要事項の報告・連絡・届出	◎	適切におこなわれている。
	保険の加入	—	
	管理物件に対する損害賠償等	—	
運営状況	施設利用状況	△	利用回数の減少に伴い、利用者数も減少した。今後も区民への広報に一層努めて利用者の増加に工夫してほしい。
	自主事業実施状況	○	交流事業の充実に一層努めてほしい。
	地域との連携	○	人権交流施設であり、利用者数が増えるよう、区民との連携を増やしてほしい。
	その他取組み	—	
	管理に係る収支状況	○	団体の負担が生じないように、留意されたい。
	自主事業に係る収支状況	○	ほぼ適切におこなわれている。
	サービス向上への取組み	○	ほぼ適切におこなわれている。
	PR等広報活動	○	市民への広報に一層努めてほしい。
	苦情・要望への対応	○	アンケート結果を参考に施設運営をお願いしたい。

3 利用者による評価

指定管理者が行なった利用者アンケートの結果及び、担当課に寄せられた利用者からの意見・要望等によるものです。

利用者アンケートの結果	実施時期	4月1日から3月31日
	調査対象	施設利用者
	調査方法	窓口に置いてあるアンケート用紙に記入してもらっている。
	調査結果	<p>回答者50人(男33人、女17人)</p> <p>年齢30代 1人、40代 3人、50代 9人、60代 20人、70代 以上17人</p> <p>管理状況：極めて保たれている 74%</p> <p>普通に維持されている 26%</p> <p>使用した感想：また利用したい 98%</p>
利用者からの意見・要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が狭いので広くしてほしい。 ・多くの車が駐車できるようにしてほしい。 	

4 指定管理者による自己評価

指定管理者自身による自己評価です。

平成30年度の自己評価	<p>立地的なことから、区民に利用されにくく、公会堂が使用できないときに利用されるよう区役員に依頼。また、町別人権問題学習会をセンターで開催して利用促進につながるよう工夫した。</p> <p>人権教育促進事業で、趣味を活かしながら交流を図れるよう各種教室を計画したが、事業継続していた「詩吟教室」の開催が困難となり実施できなかったため、施設利用者数の減少に繋がった。</p> <p>しかし、今後も多くの区民が当センターを活用されるよう努力したい。</p>
-------------	---

5 市(所管課)による総合評価

<p>施設の管理は、概ね適切に行っていただいた。当該センターは区民が利用しにくい場所にあるが、地域の人権交流のまちづくり拠点施設となるように、今後も学習会をはじめさまざまな魅力ある講座やイベント等をも計画的に企画・実施し、大勢の方の交流ができるよう努めていただきたい。</p>
--